

## 平成 26 年度 藤沢西高等学校 学校評価

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
生徒の実情やニーズに合わせた教育課程を編成し、学習意欲を高める環境を提供する。	<p>1 新学習指導要領の完全実施に伴い、現行教育課程の検証と改善を進め、平成 27 年度入学生用の教育課程を編成する。</p> <p>2 高大連携の一環である大学授業体験の実施方法を改善し、有効性を高める。</p>	<p>1 生徒の実情や進路希望に応えられる教育課程を編成することができたか。（「学校に関するアンケート」の結果における生徒の満足度 50%以上）</p> <p>2 大学授業体験を通して、進路に対する動機付けができたか。（「学校に関するアンケート」の結果における生徒の達成度 55%以上）</p>	<p>1 平成 27 年度入学生用の教育課程について、3 学年に文理系を新設するなど、生徒の実情にあった講座選択が可能になるように編成した。また、現行教育課程に対する生徒の満足度は 55.1%であった。</p> <p>2 昨年度 11 月に 2 年時で実施した 3 年生の達成度は 66.4%であった。（今年度 2 学年の実施は、大学側の事情によりアンケート実施後の 12 月となった。）</p>	<p>1 新たに導入が予定されている「高等学校基礎学力テスト」や「大学入学希望者学力評価テスト」を踏まえ、生徒の実情や進路希望等に合った教育課程となっているか検証していく。</p> <p>2 大学との調整を図り、より生徒の実情やニーズに合った講座選択が可能になるようにしたい。</p>	<p>(保護者)</p> <p>1 選択科目の決定時期が早いので、もう少し時間をかけてほしい。現行の教育課程に対する保護者の満足度は 52.5%。</p> <p>2 大学授業体験を行った 3 学年の保護者満足度は 61.7%。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>1 学習意欲の向上と進路希望の実現に向けた教育課程編成の検討を継続してほしい。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>1 現行の教育課程に対する生徒の満足度は十分とは言えないが、27 年度入学生の教育課程については、生徒の実情を鑑みた編成ができたものと考えている。</p> <p>2 大学授業体験によって進路への動機付けは評価目標を達成したものと考えるが、大学側の事情もあり、生徒の志向や学習状況に適合しない部分もあったのではないかと考える。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>1 学習指導要領の改訂及び大学入試制度の改革も視野に入れながら、検証と改善を継続していく。選択科目の決定に際しては、十分な説明と生徒の進路意識の向上を図っていく。</p> <p>2 大学側との調整と生徒への事前指導を十分に行っていく。</p>
生徒一人ひとりの豊かな心を育むとともに、個に応じた支援・相談体制を充実させる。	<p>1 スクールカウンセラーや専門機関との連携、各種講演会の開催を通してきめ細かな教育支援を行う。</p> <p>2 「いじめ防止基本方針」及び「いじめ防止等対策マニュアル」を策定し、いじめ防止の体制を確立する。</p> <p>3 不審者情報や事故情報を提供し、生活全般の安全意識の向上に向けた取組みを推進する。</p>	<p>1 教科及び総合的な学習の時間の指導等において十分な生徒相談・学習支援・教育支援を行えたか。（「学校に関するアンケート」の結果における生徒の満足度 50%以上）</p> <p>2 いじめ防止に向けた方針及び取組内容が職員に周知されたか。</p> <p>3 犯罪被害や交通事故の防止に効果を挙げられたか。（「学校に関するアンケート」の結果における生徒の満足度 50%以上）</p>	<p>1 生徒情報の把握に努め、スクールカウンセラーとの連携を密にして生徒指導にあたった。スクールカウンセラーの学級訪問や性教育講演会なども実施し、生徒の満足度は 49.2%であった。</p> <p>2 いじめが疑われるケースに対応できる基本的な体制ができあがり、運用も開始された。</p> <p>3 HR や全校集会等で、具体的な情報提供をした。また、警察との連携の強化に努めた結果、生徒の満足度は 56.9%であった。</p>	<p>1 教育相談の体制をさらに強化し、スクールカウンセラーによる支援がより効果を挙げられるようにする。</p> <p>2 今後は、いじめ防止検討会議と生活指導グループとの連携や業務のあり方について整理する必要がある。</p> <p>3 P T A や生徒会との連携等により、さらに犯罪被害や交通事故の防止に効果を挙げていきたい。</p>	<p>(保護者)</p> <p>1 保護者の満足度は 44.9%。</p> <p>3 自転車点検の実施は交通安全に効果を挙げている。SNS 等における個人情報の取扱いについて指導してほしい。保護者の満足度は 58.0%。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>1 生徒・保護者の満足度が低いのは、生徒自身の課題解決能力が高いことの表れであるとも言えるが、支援方法には工夫が必要である。また、不登校の生徒を出さない取組みをお願いしたい。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>1 多くの生徒が教育相談やカウンセリングを利用する状況にないことが、満足度の低さに影響しているものと推測される。課題を抱える生徒の指導においては、総合教育センター、医療機関との積極的な連携による取組みも行ってきた。</p> <p>2 「いじめ防止基本方針」及び「いじめ防止等対策マニュアル」を策定し、いじめが疑われる事案での運用も開始できた。</p> <p>3 登下校時指導、自転車点検、安全情報の提供等、P T A や警察等との連携により、生徒の意識も向上し、安全指導に効果があった。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>1 教育相談の体制をさらに強化するとともに、学校の取組みについて、生徒、保護者への周知を活発に行う。</p> <p>2 定期的ないじめ防止検討会議の開催で、情報共有といじめ防止に役立てていく。</p> <p>3 安全指導の継続を図るとともに、I C T 関連の知識を日々更新して指導を強化する。</p>
授業の工夫・改善を進め、基礎学力の定着と自主的な学習の取組みを支援する。	<p>1 「生徒による授業評価」の有効活用と、教員相互の授業参観や研修会の活性化を通して、授業改善を進める。</p> <p>2 基礎学力の定着及び自主的な学習を支援するために、「定期テスト前のフォローアップ週間」や「夏期講習」を計画的に実施する。</p>	<p>1 授業参観者数を増加させることができたか。</p> <p>2 「定期テスト前のフォローアップ週間」や「夏期講習」を計画的かつ効果的に実施することができたか。（「学校に関するアンケート」の結果における生徒の満足度 55%以上）</p>	<p>1 第 1 回「生徒による授業評価」の集計結果を基に、授業改善教科研修会を実施し、10 月に授業改善研究授業、12 月には授業改善研究授業の結果を基にした研修会を実施して授業改善の取組を進めた。しかし、教員相互の授業参観者の延べ人数は、前年度比プラス 1 名であった。</p> <p>2 「フォローアップ週間」や「夏期講習」による学習支援に対する生徒の満足度は 63.6%で、目標を大幅に上回った。</p>	<p>1 第 2 回「生徒による授業評価」では 8 項目全てで授業満足度が 90%以上と高評価を得ているが、授業改善研究授業や授業改善教科研修会等の充実に向け、実施方法等の改善を図りたい。</p> <p>2 「フォローアップ週間」や「夏期講習」の開講講座の設定や参加生徒の状況等を検証して、多くの生徒が参加できるように引き続き検討していきたい。</p>	<p>(保護者)</p> <p>1 教科によって指導にばらつきを感じる。</p> <p>2 部活動との重なりで夏期講習に参加できない生徒への配慮がほしい。テスト前のフォローアップや普段の補習には感謝している。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>1 教員が授業を見に来てくれることに安心感や喜びを抱く生徒の意識を理解して、教員相互の授業観察を活発に行ってほしい。</p> <p>2 生徒の学習意欲を向上させる支援を継続してほしい。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>1 「生徒による授業評価」での満足度の高さは、教員の努力や教授力の表れであると考えているが、教員それぞれの力が学校全体に広がるようにすることが必要である。</p> <p>2 生徒の満足度が高く、保護者の満足度も 59.6%と、補習システムの利活用が定着しているものと判断できる。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>1 教員相互の授業参観者数を増加させるための工夫を模索し、学校全体での組織的な授業改善を進めていく。</p> <p>2 補習のシステムを見直し、さらに生徒の活発な利活用を図る。</p>
自らの生きる力を育むキャリア教育を充実させ、生徒のキャリア発達を支援する。	<p>1 キャリア教育において身に付けるべき諸能力が育成されることを意識した教育活動の展開に努める。</p> <p>2 望ましい職業観・勤労観を育てるため、各学年</p>	<p>1 教育活動の様々な場面で社会生活・職業生活に必要な技術・技能を育成できたか。（「学校に関するアンケート」の結果における生徒の認識度 50%以上）</p>	<p>1 教育活動の様々な場面における恒常的なキャリア教育の進展に向けて少しずつ動いている。社会で必要となる諸能力の育成については 54.5%、教科外活動による人格形成については 71.3%の生徒が満足している。</p>	<p>1 キャリア教育が単なる「進学先探し」にならないように、全職員の理解と協力を得られるようにする。</p> <p>2 より質の高いキャリア教育の在り方について研究していく。また国の動向も踏まえて、実践的なキャリア教育を推進していく。</p>	<p>(保護者)</p> <p>1 部活動への参加で子どものコミュニケーション能力が向上した。教科外活動による人格形成については、保護者の 78.9%が満足している。</p> <p>2 大学選びや受験準備については、もっと詳しく指導してほしい。</p> <p>3 学校行事等でも教員が生徒に寄り添ってしてくれ</p>	<p>(学校評価)</p> <p>1 教科指導において、学習内容が将来どのように活用できるのかを生徒に意識させることが必要であると考えている。また、教科外活動における生徒、保護者の高い満足度は、人間関係形成能力等のキャリア形成に大きな効果をもたらしているものと考えられる。</p>

	<p>に応じた進路ガイダンスを実施し、計画的なキャリア教育を引き続き推進していく。</p> <p>3 教科外活動への積極的な参加を促し、協調性や他者を思いやる態度を育成する。</p>	<p>2 生徒が自己の生き方や在り方について考えるのに有効な機会を十分与えられたか。</p> <p>3 部活動・委員会・学校行事等への生徒の量的・質的関わりを向上させ、ルールやマナーを尊重する人格的成長のサポートができたか。（「学校に関するアンケート」の結果における生徒の満足度65%以上）</p>	<p>2 進路ガイダンスや大学授業体験プログラムの実施により、生徒のキャリア意識を高めることができた。</p> <p>3 上記71.3%の生徒満足度からも、競技や発表の成績だけでなく、日常生活指導についても、概ね目標を達成できた。</p>	<p>3 よりよき社会人として生きていけるよう、日頃からルールやマナーなどの規範意識をさらに高めるようにサポートを行っていく。</p>	<p>ることに感謝する。体育祭の実施方法については検討の余地がある。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>1 教員がしゃべり過ぎる授業では、キャリアを形成していくために必要な能力や態度は育たないということは意識しておくべきである。</p> <p>2 国公立大学への進学者が増加したことは、指導の成果であると思う。</p> <p>3 生徒の満足度の高さは、記憶に残る高校生活を送れている証であろう。</p> <p>(その他)</p> <p>3 地域行事への部活動生徒の協力ぶりには大変感謝している。(地域青少年育成協力会)</p>	<p>2 キャリア教育に係る各種プログラムにより生徒へのキャリア意識を高めることができ、わずかであるが国公立大学進学実績も向上した。</p> <p>3 生徒、保護者ともに満足度が高く、部活動や学校行事は生徒の人格形成に役立っている。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>1 各教科においてもキャリア形成を意識した指導を心掛けていく。</p> <p>2 自分らしい生き方を実現するための力を生徒に身に付けさせる中で、進路実現の支援を強化していく。</p> <p>3 本校の教育の特色である「文武不岐」をさらに追求し、生徒のキャリア形成に効果を与えていく。</p>
開かれた学校づくりを進め、情報を交換する中で、相互理解と協力体制をさらに進展させる。	<p>1 学校行事を通して地域住民や保護者との連携を深め、開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>2 保護者懇談会、保護者面談等を通して保護者との情報交換を行い、教育活動の向上に資する。</p> <p>3 施設開放を継続するとともに、地域清掃等を通して地域に貢献する。</p>	<p>1 体育祭、西高祭、遊 ing 西高において地域住民や保護者と協働する場面をつくれたか。</p> <p>2 保護者からの意見・要望等を受け止め、学校運営に生かすことができたか。</p> <p>3 施設開放の利用状況は良好か。地域貢献の意識をもって地域清掃に取り組めたか。</p>	<p>1 各学校行事等において、多くの地域住民・保護者の参加があり、学校の教育活動への理解と協力を得られた。</p> <p>2 夏期講習の実施方法を柔軟にしたり、新たな服装指導を試行したりと、保護者の声を教育活動の改善に生かすことができた。</p> <p>3 施設開放については、14の団体が利用登録し、体育館はほぼ毎日利用されている。 地域清掃については、地域貢献デーを1回から2回に増やした。また、日頃から各運動部が学校周辺の清掃を自主的に行っている。</p>	<p>1 来年度においても、地域・保護者との協力・連携関係を深めていく。</p> <p>2 今後も保護者との情報交換を大切にしてい、保護者の意見・要望を教育活動の向上に役立てていく。</p> <p>3 地域清掃については、地域との連携を強化しながら、今後も積極的に取り組んでいく。</p>	<p>(保護者)</p> <p>1 学校行事等において PTA 活動に参加できて楽しかった。学校を訪れると、生徒や教員がよく挨拶してくれる。</p> <p>2 保護者面談・懇談会は年2回以上開いてほしい。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>1 学校が地域に開かれている現状を継続してほしい。かるた部の模範試合や吹奏楽部の演奏などは、地域住民に人気が高い。</p> <p>(その他)</p> <p>1 学校は、外部の人間を歓迎してくれている。(地域青少年育成協力会)</p>	<p>(学校評価)</p> <p>1 地域の市民活動への参加・協力、学校行事における多数の地域住民の来校及び PTA の積極的な支援等、双方向のつながりが構築されている。</p> <p>2 保護者懇談会は年2回、面談は年1回開催しており、保護者からの声は職員全体で共有し、教育活動に活かしている。</p> <p>3 生徒の部活動への加入率が非常に高い本校であるが、体育館の開放をほぼ毎日行うことは、地域への貢献の一つとなっている。地域清掃の回数を増やしたことで、地域への感謝の意を表せた。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>1 今後も地域に根ざした学校づくりを目指していく。</p> <p>2 保護者の声が学校に届きやすいような環境づくりを心掛けていく。</p> <p>3 施設開放、地域清掃とともに、今後も積極的に取り組んでいく。</p>
事故防止に努め、安全・安心な学校づくりを推進する。	<p>1 事故・不祥事の防止を徹底するとともに、学校行事・部活動等における活動環境の安全保持に努める。</p> <p>2 地域や PTA と連携して防災活動を充実させ、生徒の防災意識を高める。</p> <p>3 東棟校舎の除去工事における事故防止を徹底するとともに、完成した特別教室棟をはじめとする校内施設の保全・美化に努める。</p>	<p>1 事故・不祥事の発生を抑えられたか。環境整備及び安全指導の質的量的向上が図れたか。(事故・不祥事の発生0件)</p> <p>2 地域・PTA と生徒・職員が協働する防災訓練等を実施できたか。</p> <p>3 関係機関と連携しながら、東棟校舎の工事が安全かつ計画的に推進され、施設の保全・美化のための新たな体制づくりができたか。</p>	<p>1 事務手続きにおいて不備が発生したが、即時の対応により影響はなかった。 体育館周辺の大掛かりな清掃により部活動環境の整備を行った。</p> <p>2 2回の防災訓練を実施し、消防署員による消火活動の指導で生徒の防災意識を高めることができた。地域自治会の防災担当者へ案内を発出したが、悪天候のため参加を得られなかった。</p> <p>3 東棟除却工事は、各関係機関と連携を図り、安全に留意しながら計画的に進めることができた。また、環境整備費を新設し、新校舎の保全・美化に活用することとした。</p>	<p>1 不備発生直後に職員への研修を行い、再発防止を図ったが、次年度の事故不祥事防止研修を実効性のあるものに改善する。</p> <p>2 今後も地域と協働した防災訓練等を実施するとともに、地域における防災訓練等への参加も検討する。</p> <p>3 来年度は東棟校舎の新築工事が行われる。今後も事故防止の徹底に努めたい。環境整備費を有効活用し、施設の保全・美化に努める。</p>	<p>(保護者)</p> <p>1 PTA が作成したハザードマップを活用してほしい。</p> <p>3 校地内に物品やゴミが散乱している場所も見受けられる。一足制に移行し、校舎内の汚れが目立っている。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>2 これからの防災訓練は受身型の避難訓練ではなく、いかに生き抜くかという知識・技能を身に付けさせることが必要であろう。地域住民の高齢化に伴い、生徒がどのように地域防災活動に貢献できるかということも考えてもらえるとありがたい。</p> <p>3 工事に関する近隣への配慮に感謝する。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>1 事務手続きで不備があったことは、職員全体の問題として再発防止に取り組みなければならない。PTA の努力によってハザードマップを作成し、学校ホームページに掲載できたことは生徒の安全指導に効果を挙げられるものと考えられる。</p> <p>2 防災訓練において地域の消防署の協力を得られたことは教育効果が大きかった。防災活動における地域住民との連携は、緒に就いたばかりである。</p> <p>3 散乱する物品やゴミについては大掛かりな清掃を行ったが、一足制の導入による影響をはじめ、校舎建替工事に関わる校内美化の問題については改善を要する。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>1 今回の事務手続きの不備の再発防止を中心に、事故不祥事防止研修を実効性のあるものに改善していく。</p> <p>2 防災活動における地域住民との連携を推進するために、職員・生徒の地域防災訓練等への参加も検討する。</p> <p>3 清掃用具の整備や清掃方法の見直し等を行っていく。</p>